



# 月刊 竹田通信

## 竹田地域協議会報

竹田地域協議会  
平成21年9月30日 発行  
TEL・FAX: 44-2535  
E-mail:  
takeda@town.misasa.tottori.jp



## ～竹田地区大運動会開催～

竹田地域での最大イベントの1つでもあります、竹田地区大運動会（南小学校・竹田保育園共催）が、9月13日（日）南小学校グラウンドで盛大に開催されました。前日の雨がうその様に、この日は朝から晴れ渡り、爽やかな秋空の下、各部落の皆さんや小学生、保育園児達の一生懸命な姿に観客席からたくさんの拍手や、声援が送られていました。今年は、昨年までの『非常持ち出しリレー』に変わり『オーバースロー』が何年ぶりかで復活したり、『満水リレー』も採点種目に加わったりと昨年以上の盛り上がりを見せたのではないのでしょうか？

結果は下記のとおりです。

総合優勝 : 上西谷  
準優勝 : 下西谷  
第3位 : 加谷



- |             |    |     |
|-------------|----|-----|
| ・ボール運びリレー   | 優勝 | 上西谷 |
| ・ホールインワンリレー | 優勝 | 上西谷 |
| ・キックボール     | 優勝 | 上西谷 |
| ・飲食リレー      | 優勝 | 下西谷 |
| ・オーバースロー    | 優勝 | 中高生 |
| ・満水リレー      | 優勝 | 加谷  |



昨年までのパンに変わって今年登場した梨には、かなり苦戦されたようです。

### 運動会反省会より 一部

- ・満水リレーは60歳以上としているが、何度も往復するため、かなり走ることになるので、もう少し距離を短くしてはどうか？
- ・年齢制限のある種目は1種目しかないが、高齢の方にたくさん出してもらうためにも増やしてはどうか？  
～これとは反対に、60歳以上が出てこれない集落は制限を外してほしいという意見もありました。
- ・梨が大きすぎた。
- ・未就園児の競技がわかりにくかった。

他にもたくさんの意見をいただきました。この意見をもとに来年の運動会が、よりいっそう盛大に行われるよう検討を重ねていきたいと思っております。地域の皆様のご協力ありがとうございました。

### 地域振興部より

## 除草作業終わる



去る9月6日（日）下畑～三軒屋間で2度目の除草作業が行なわれました。この日は、晴天にめぐまれ、地域振興部員（各区長）を中心に各部落で協力をお願いした方々25名で行なわれました。ご協力いただいた皆様お疲れ様でした。



## 郷土の偉人「安藤孫三郎」

三朝町文化財保護調査委員の安藤一さんより「きょうどを開いた人」と題して、下記の資料をいただきましたのでご紹介しします。子供さん・お孫さんにも読んで聞かせてあげてくださいね。

三朝町福山は、江戸時代のなかば過ぎまで四十曲峠(今の福本)の一部で、長い間人は住んでいませんでした。山の上のほうにあるので峯郷(うなごう)と呼ばれており、高い所に位置しますが、平地が広がり冬に雪が多く降る以外は気候の良いところでした。

今から 180 年ほど前の鳥取藩は、少しでも多く米を作るため新しい田を開くことに力を入れていました。たまたま、峯郷を通った藩の役人は、新しい田を開くのに良い土地と考え、藩主に伝えたそうです。

藩主は、峯郷に近い久原村の庄屋(村長)安藤孫三郎が立派な人であることを見込んで、新しい田を開くように言いつけました。孫三郎は夢の中で、峯郷の入口にある不動滝の不動尊が現れ、『新しい田を開くことにつとめよ』という励ましのお告げに力を得て、新田を開くことを始めました。

近くの鉄山で働いていた人や、田を開くことを望んで集まった人たちと力をあわせ、かずらや萱を刈り払い、新田づくりにつとめました。

孫三郎は、集まった人々が貧しいことを知り、農具を自分で買い替え、藩主や伊木村の大庄屋(庄屋を取りしめる役)涌島長右衛門らの援助を受け、自分は粗末な小屋に寝起きして、がんばりました。

初めのころは食べるものも少なく仕事も苦しいので夜中に逃げ出す人もいました。孫三郎は人々を励まし、自分も一緒になって土や石を運びました。水路やあぜを作り、次第に田を広げていきました。その間には開作を喜ばない隣の村のじゃまがあったり、久原の孫三郎の家が近所で起きた火事で焼けたり、大水で田畑がたくさん流されたりしました。それでも、孫三郎の新田を開く心は変わりませんでした。初めに開いた土地を「つるが平」(今は町本)と名づけ、稲を植えました。田にしにくい所は、初めは畑にして粟や小豆などを作り、田に変えていきました。10年が過ぎると、家数 17 軒、田 5.5 ヘクタール、畑 2.2 ヘクタールとなり1つの村になることを許されたので、峯郷を福山村と改めました。新田の開作が進み、100年ほど前には田 13.5 ヘクタール、畑 1.7 ヘクタールに広がり、昭和 30 年は、24 軒、人口 140 人の村に成長しました。

しかし、近年は人口も減って平成 2 年は 11 軒、32 人、田 896 アール、畑 122 アール、果樹園 91 アールとなっています。

福山分校の上にある不動さんを祀った堂は福山の守り本尊として孫三郎や新田を開いた人々が建てたものです。この堂には、そのころの曹源寺 20 代目の光雲和尚が彫った本尊の不動さんとほかに 2 体の仏像が祀ってあります。

今も福山の人々は、孫三郎や先祖に感謝してこの堂の不動さんを大切に祀っています。

「参考文献 わたしたちの町みささ」

### 地デジ説明会開催

総務省による地デジの説明会(無料)が開催されます。竹田公民館では、10月14日(水曜日)時間は11時～・14時～の2回(約1時間程度)事前の申し込みは必要ありませんが、それぞれ定員(各40名)になり次第締め切りになります。この機会にわからないこと聞いてみませんか? 詳しくは  
総務省 鳥取県テレビ受信者支援センター  
(デジサポ鳥取) 電話0857-36-9190

### 10月のお知らせ

- 9日(第2金曜日)ヒオキさん(福祉理美容)来所
- 10日(土)みささ南土曜楽校  
パン作り
- 24日(土)ボーリング大会(教育民生部)  
竹田公民館18時集合
- 25日(日)缶拾い(産業振興部)  
ざっこの会により木地山地内



竹田地域協議会

事務局 小椋

竹田公民館 電話&FAX 44-2535

勤務日 月曜日～金曜日(午前中)\*都合により変更になる場合もありますのでご了承ください

©公民館・体育館の利用は事前の予約が必要です。★施設の決まりを守りましょう。



